

## 2023年度第1回日本臨床環境医学会評議員会・総会議事録

日時：2023年6月24日（土）13:00-13:45

場所：〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

近畿大学東大阪キャンパス 11月ホール

議長：東 賢一（第31回日本臨床環境医学会学術集会会長）

議事に先立ち、坂部貢理事長より、今後会員数を増やし、学会として社会発信を心がけていきたい旨、ご挨拶があった。

### 議題

#### 1. 新理事長について

会則第IV章第2条に従い、理事会における理事の互選により、坂部貢千葉大学予防医学センター教授が8期目の理事長として選出され、この総会においてこれを承認した。

#### 2. 2022年度事業報告

- ① 会員数は2023年3月31日現在183名（購読会員1名、賛助会員1社）、昨年度の入会は6名、退会者は20名。
- ② 第30回日本臨床環境医学会学術集会は柳宇会長のもと、2022年6月25日と26日の2日間、工学院大学新宿キャンパスにおいて久しぶりに対面で開催され、盛会であった。
- ③ 3つの分科会も活動は順調で、成果はこの学術集会で報告される。
- ④ 会員管理事務を2022年度から学会支援機構に委託開始としたが、ほぼ順調に引き継ぎができた。
- ⑤ 学会ホームページも学会支援機構に委託し、ホームページの充実を図った。
- ⑥ 学会誌「臨床環境医学」第31巻を発刊し、バックナンバーを製本化すると同時に国会図書館に創刊号からの納本が完成した。

#### 3. 2023年度事業計画

以下の2023年度事業計画が上記2022年度事業報告とともに承認された。

- ① 会員数増加を図る。
- ② 第31回日本臨床環境医学会学術集会を成功裏に収める。
- ③ 3分科会の活動を継続する。
- ④ 学会誌「臨床環境医学」の発刊を順調に継続する。
- ⑤ 学会HPについて学術集会の抄録集を中心にアーカイブを充実させる。
- ⑥ 若手奨励金の検討を進めるとともに、評議員の位置づけなど会則の抜本的改正に取り組む。

#### 4. 新理事・新評議員について

以下の5名が理事会で推薦され、承認された。

理事：水越厚史（近畿大学医学部講師）

評議員：戸田恵美子（千葉大学予防医学センター 教授）

林 基哉（北海道大学大学院工学研究院 教授）

吉富寧寧（東京医科大学 教授）

篠原直秀（産業技術総合研究所 上級主任研究員）

5. 組織体制について

新理事長のもと以下の組織体制が理事会より提案され、承認された。また、これに伴い、本部事務局および「臨床環境医学」編集事務局も移転する。

理事長：坂部 貢（千葉大学）

副理事長：吉田貴彦（旭川医科大学）、野崎淳夫（東北文化学園大学）

財務担当理事：坂部 貢（千葉大学）

総務担当理事：森 千里（千葉大学）

編集担当理事：木村 穰（東海大学）

編集委員長：佐藤 勉（東海大学）

監事：清野正子（北里大学）

本部事務局：千葉大学予防医学センター

編集事務局：東海大学医学部生体構造学領域

6. 分科会について

現在、継続2年間の初年度にあたる以下の3分科会が紹介された。

① 病院・高齢者施設環境分科会（メンバー17名）

代表：柳 宇（工学院大学）

幹事：尾方壮行（東京都立大学）

② 環境アレルギー分科会（メンバー28名）

代表：平 久美子（東京女子医科大学）

③ 環境過敏症分科会（メンバー46名）

代表：北條祥子（尚絅学院大学名誉教授）

副代表：黒岩義之（帝京大学）

副代表：水越厚史（近畿大学）

7. 会計報告について

2022年度収支決算書（事務委託先の学会支援センター作成）に基づき坂部財務担当理事から説明がなされ、2022年度決算は総収入が2,034,484円、総支出が1,872,351円であることが報告された。年度会計としては黒字であるが、「臨床環境医学」31(2)の印刷製本費用は2023年度会計に回される。また繰越金については過年度について坂部理事の立替分などがあることから数字の修正がある見込みである。

8. 2022年度会計監査について

上記決算報告に対する会計監査報告書が示され（「繰越金を除き」との但し書き付き）、上記2022年度会計報告とともに承認された。なお木村総務担当理事が清野監事代理で報告を行った。

9. 2023年度予算（案）について

坂部財務担当理事より2023年度予算案が提示され、承認された。印刷製本費については上記の分があり、事務局移転などもあるので110万円強の赤字予算となっている。実際の支出はかなり抑えられる可能性もあり、繰越

金もあるので十分対応できると考えられるものの、今後については検討要。

1 0。次々期会長の選出について

鍵直樹理事が次々期会長として理事会から推薦、全会一致で承認され、ご挨拶があった。

1 1。編集委員会報告とお願い

2022年度発刊2号分の「臨床環境医学」の内容紹介、今後の予定、編集委員の紹介、さらに原稿の積極的な投稿が呼びかけられた。

1 2。投稿規定改正について

編集委員会より、投稿規定にある「別刷りの30部無料提供」を原則廃止したい旨の提案があり、これを承認した。なお、希望者は有料（実費）で申し込むことができ、依頼原稿については従来の条件を適用する予定。

1 3。会則改正について

ゆうちょ銀行の振替口座開設申し込みの際、事務局所在地の明記が求められたことから昨年の理事会・総会で会則改正を承認いただいたが、上記事務局移転に伴い、過去の表記（「理事長のもとにおく」）に戻すこと、また、会員が「名簿を受け取ることができる」、とした表記を削除したい旨、総務担当理事・事務局から提案があり、承認された。

議事終了後、網中雅仁次期会長より、来年度の第32回学術集会についての以下の案内があり、今後の予定とともに当日の参加が呼びかけられた。

日時（予定）：2024年6月8日（土）・9日（日）もしくは15日（土）・16日（日）

場所（予定）：くらしき作陽大学3号館（聖徳殿）・1号館ロビー他

開催形式（予定）：対面開催

以上